

## 第9章 社会連携・社会貢献

## (1) 現状の説明

点検評価項目①：大学の教育研究成果を適切に社会に還元するための社会連携・社会貢献に関する方針を明示しているか。

## 【評価の視点】

1：大学の理念・目的、各学部・研究科の目的等を踏まえた社会連携・社会貢献に関する方針の適切な明示

- 1) 大学として、「社会連携・社会貢献に関する方針」を定め、ホームページに掲載している。学是「仁」と理念「不断前進」に基づき、国際的研究・教育拠点として、地域社会、産業界、国際社会等との幅広い連携活動を展開し、教育・研究・臨床の成果を広く社会に還元することにより、社会連携・社会貢献・国際協力を積極的に推進していくことを基本方針としており、「社会連携」、「産学官連携」、「国際社会への貢献」の項目について、それぞれ方針をまとめている。

(大総務2-1 法人ホームページ 「各種方針」)

## 《社会連携・社会貢献について》

- 1) 社会連携・社会貢献については、以下の方針を明示している。

- ・ 本学の教育・研究成果及び人的資源等を活用して地域社会との連携活動を推進し、地域社会の持続的発展に貢献するとともに、本学における教育研究活動の活性化を図ります。
- ・ 法人直轄組織として社会連携推進室、各キャンパスに社会連携推進室分室を置き、社会連携の推進を図ります。
- ・ 各キャンパスの所在する周辺自治体と連携協力して、医学、スポーツ健康科学、看護学、国際教養等の分野について、地域住民に対する公開講座・公開講演会・スポーツイベント・健康教室等を充実させ、生涯学習の要望に応じていきます。
- ・ 医学部附属病院群は、高度先進医療を積極的に実践するとともに、地域医療の中核病院としての役割を果たします。具体的には、各病院の特色に合わせて次のような取組みを推進します。①日常診療におけるスムーズな病病連携、病診連携の推進、②地域の医療従事者への医療情報の提供、③医師会や自治体主催の講演会等への講師派遣、④地域住民に最新の医療情報等の学習機会を提供する市民公開講座・研修会の開催
- ・ 高大連携活動を積極的に展開し、高校生に対して大学で学ぶ意義や大学での学修に必要な能力・態度についての理解を深めるよう取組みます。

- 2) 「学校法人順天堂社会連携推進室運営規程」において、社会連携に必要な事項を定めている。

(大社連9-1 学校法人順天堂社会連携推進室運営規程)

- 3) 各学部及び大学院研究科では、社会連携・社会貢献に関する方針を個別に定めており、それぞれのシラバス、学生募集要項やホームページ等に公表・明示している。

(大総務9-1 各学部・研究科の社会連携・社会貢献に関する方針)

## 《産学官連携について》

- 1) 産学官連携については、以下の方針を明示している。

- ・ 産学官連携活動を促進するため、研究戦略推進センターの体制を強化し、次の方策を実施します。
  - (1) 企業・他大学・研究機関等との連携活動に積極的に取組み、研究成果を社会に還元します。
  - (2) 寄付講座及び共同研究講座の設置や共同研究・受託研究のより一層の外部資金・人材受け入れに努め、教育研究の活性化・多様化を図ります。
  - (3) 研究倫理に関するルールに基づいた適正な研究の遂行と研究費の適正管理に努めます。

- 2) 「順天堂大学産学官連携ポリシー」において、教育と研究という基本使命に加えて、研究成

## 第9章 社会連携・社会貢献

果の社会還元を第三の使命とし、本法人における産学官連携活動の活性化を図る方針を明示している。2016(平成28)年7月1日付けで、研究推進センターを研究戦略推進センターに改称するとともに、同センター内に「産学官研究連携推進室」を設置し、推進・支援体制を強化した。

(大研戦9-1 順天堂大学産学官連携ポリシー)

(大研戦9-2 順天堂大学研究戦略推進センター管理運営内規)

- 3) 臨床研究については、臨床研究・治験センターを設置し、本学における研究成果を他の医療機関に普及させ、社会への還元に寄与するという目的方針の下、医薬品・医療機器の開発に必要な質の高い臨床研究、治験、その他の臨床研究を推進、支援している。なお、2018(平成30)年1月1日付の組織変更に伴い、同日付で改定された「順天堂大学医学部附属順天堂医院臨床研究・治験センター管理運営規程」及び「順天堂大学革新的医療技術開発研究センター管理運営規程」において、後継組織の方針を明示している。連携協定締結先の企業・団体数は、延べ20機関となっている。

(大革新9-1 順天堂大学医学部附属順天堂医院臨床研究・治験センター管理運営規程)

(大革新9-2 順天堂大学革新的医療技術開発研究センター管理運営規程)

(大総務9-2 連携協定締結先一覧)

### 《他学との連携について》

- 1) 他学との連携については、他の大学及び高等学校との間で教育・研究等に関する連携協定を個別に締結し、そのなかで連携・協力に関する具体的な方針を定めている。なお、連携協定締結先の数は、大学間は延べ48校、高大間は3校となっている。

(大総務9-2 連携協定締結先一覧)

### 《国際社会への貢献について》

- 1) 国際社会への貢献については、以下の方針を明示している。

「順天堂大学国際化ビジョン」に基づき、以下の取組みを行います。

(教育活動の国際化)

1. 国内外の高等教育機関との連携を図り、若手研究者の海外派遣や学生の留学に向けたプログラムの充実と支援体制の強化を図ります。
2. 外国人教員や留学生の受入れを拡大し、協働して学びあう教育環境の充実を図ります。
3. 異なる言語や多様な文化をもった国内外の地域やコミュニティとの教育的な連携を強化します。

(研究活動の国際化)

1. 国内外の大学・研究機関等との研究ネットワークを強化し、基礎臨床融合・異分野連携研究を始めとする共同研究を拡大することによって研究の高度化・深化を図ります。
2. 国際的研究拠点に相応しい研究環境の整備や臨床研究拠点としての大学病院群の機能の充実を図り、産学官の有機的な連携をもってイノベーションの創出に取組みます。
3. 本学の独創的な研究成果等を国際学術誌等に速やかに公開するとともに社会への還元を進めるため国際シンポジウム等を積極的に開催します。

(学内体制の国際化)

1. 国際交流センターが中心となり、教育・研究の国際戦略を企画立案し、全学的な組織体制を強化します。
2. 本学に在籍した留学生・研究者等の海外ネットワーク組織の強化を図ります。
3. グローバル化に対応する教職員の育成を図ります。

## 第9章 社会連携・社会貢献

4. グローバル・リーダーシップ育成推進奨学金により若手研究者等の海外留学等を推進し、国際的に活躍する人材の輩出に努めます。

2) 教員及び学生の国際交流や国際共同研究・教育等具体的な業務については、「順天堂大学国際交流センター運営規程」に基づき「国際交流センター」がその役割を担っている。

(大国交9-1 順天堂大学国際交流センター運営規程)

(大国交9-2 順天堂大学 国際化ビジョン)

**点検評価項目②：社会連携・社会貢献に関する方針に基づき、社会連携・社会貢献に関する取り組みを実施しているか。また、教育研究成果等を適切に社会に還元しているか。**

## 【評価の視点】

1：学外組織との適切な連携体制

2：社会連携・社会貢献に関する活動による教育研究の推進

3：地域交流、国際交流事業への参加

## 《社会連携・社会貢献について》

- 1) 自治体との連携については、東京都文京区をはじめ、千葉県内では佐倉市、成田市、酒々井町、白井市、印西市、習志野市、栄町、浦安市、富里市の9自治体、静岡県三島市、埼玉県川口市、愛知県東郷町及び愛媛県砥部町と連携協定を締結し、教育の振興、スポーツの発展、健康支援など地域社会の発展に寄与することを目的とした取り組みを実施している。
- 2) 連携協定を締結した自治体とは、社会連携推進室及び各キャンパスの分室が連絡を取り合い、必要に応じて連絡協議会等の場を設け、自治体の要望等に対応した。各キャンパスを拠点に公開講座等への講師派遣、自治体イベントへの参加等による地域住民との交流、地域貢献活動、スポーツ教室等の開催が活発に行われ、地域に根付いた事業となっている。
- 3) 各学部・研究科では、公開講座・シンポジウム等の開催、学校施設の開放、見学会の実施、ボランティア活動等、様々な分野で積極的に展開している。

(大総務9-3 各学部・研究科・附属病院における社会連携・社会貢献の取組み)

## 《産学官連携について》

- 1) 産学官連携については、2013(平成25)年度から2014(平成26)年度にかけてCOI-T(トライアル)拠点として採択された文部科学省「研究成果展開事業 センター・オブ・イノベーション(COI)プログラム」の活動が評価され、本学と立命館大学との連携拠点がCOI拠点として2015(平成27)年度に決定した。本プログラム(運動の生活カルチャー化により活力ある未来をつくるアクティブ・フォー・オール拠点)では、空間価値を変える新しいスポーツ健康技術(スマートウェア技術、空間シェアリング技術、運動誘導/継続技術)(立命館拠点)と、寝たきりゼロを目指す「ロコモの見える化と予防法の開発」(順天堂拠点)をハイリスクではあるが実用化の期待が大きい異分野融合・連携型の基盤的テーマに対し、集中的な支援を行い、産学が連携する研究開発チームにより社会実装を目指している。2017(平成29)年6月、立命館大学びわこ草津キャンパスにおいて、COIビジョナリーチーム(ビジョン1:松田譲リーダー)によるサイトビジット(拠点訪問)が実施され、本学及び立命館大学からプロジェクトの進捗状況について報告を行った。同年10月、同キャンパスにて「運動フェスティバル」を開催し、当拠点の取り組みを一般に向けて公開した。その他、本学拠点参画企業により(株)東急スポーツオアシスにてロコモ予防セミナー、東急不動産(株)の施設(ダイエー赤羽店ら

## 第9章 社会連携・社会貢献

くティブ)、東郷町施設サービス㈱にてロコモ度チェック体力測定会などを行った。

(大研戦9-3 大学・大学院ホームページ 本学について 教育改革の取り組みなど センター・オブ・イノベーション (COI))

- 2) 2015(平成27)年7月31日、国立研究開発法人医療基盤・健康・栄養研究所と相互の研究交流を推進することにより、健康と栄養に関する学術及び科学技術の発展に寄与するための連携協定を締結した。また、同日、国立大学法人鹿屋体育大学と相互に連携及び協力し、体育・スポーツ分野における教育研究を発展させるとともに、本分野において我が国の先導的な役割を果たすための連携協定を締結した。3者間の共同研究を開始している。

(大ス9-1 学校法人順天堂と国立大学法人鹿屋体育大学連携協定書)

(大ス9-2 順天堂大学と国立研究開発法人医療基盤・健康・栄養研究所連携協定書)

- 3) 個別企業・団体等との間においても、次のとおり連携協定を締結し、それぞれの分野において共同研究等の取り組みを展開している。

- (1) 独立行政法人理化学研究所：相互の研究能力と人材を活かし、国内外の学術及び技術の振興と有為な人材の育成に資することを目的として、連携基本協定を締結(2012(平成24)年4月26日付)。本協定に基づき、2012(平成24)年8月より理化学研究所のCAGE(Cap Analysis of Gene Expression)法を用いたがんバイオマーカーと臨床応用に関する共同研究をはじめ、多くの共同研究が実施されている。

(大革新9-3 順天堂大学と理化学研究所が包括的基本協定)

- (2) 日立製作所：医療実績、臨床現場からのニーズと企業の総合的な技術力を結びつけることによって、医療・ヘルスケア分野の先端医療機器や情報システムなどの開発を行うことを目的として、連携基本協定を締結(2012(平成24)年10月1日付)。基本協定に基づき、再生医療、超音波、画像診断などの分野の共同研究が2013(平成25)年10月より実施されている。

(大革新9-4 順天堂大学と日立が包括的な産学連携の協定を締結)

- (3) 花王株式会社：「健康を科学する」という共通テーマのもと、両組織の連携・協力関係を推進するために、研究包括契約を締結(2015(平成27)年6月2日付)。本契約に基づき、互いの研究知見や施設を活用して、医療・健康分野における基盤研究の連携を強め、現場のニーズに即した革新的な技術開発とその早期実用化を推進し、グローバルなイノベーションの創出を目指す為の共同研究が開始されている。

(大革新9-5 順天堂大学と花王が産学連携の研究包括契約を締結)

- (4) 学校法人慶應義塾：首都圏医学系17私立大学が参画している首都圏ARコンソーシアム(MARC, Metropolitan Academic Research Consortium)の組成及び活動を通じて革新的な医薬品等の創出を目指し、研究・教育及び医療活動の一層の充実を図ると共に、その成果を社会に発信し、先端的医療の確立と健康医療分野の発展に寄与するために、基本協定を締結した(2017(平成29)年6月1日付)。本協定に基づき、MARC体制整備、シーズ発掘、教育・人材交流のワーキンググループの活動を通じて参加メンバー間の密な情報交換を行っている。MARCのホームページを通じて、臨床研究・治験センター主催で行っており、研修会・講演について広く社会に発信している。

(大革新9-6 首都圏ARコンソーシアムに関する基本協定書)

- (5) 東急不動産株式会社：2015(平成27)年10月29日付で包括的連携協定を締結した。本

## 第9章 社会連携・社会貢献

協定により、本学と東急不動産は互いが有する資源を有効に活用し、相互の発展を通じて我が国が全世界に先駆けて直面する超高齢社会の課題を解決する新たなプログラムを構築し、健康長寿社会の実現を目指す。既に本学では、COIプログラムでの連携に加え、寄付講座「ジェロントロジー：医学・健康学応用講座」を設置し、学問的なアプローチから、楽しく、寛げる、動ける、語らう、食べることの可能な住空間システムのハード面・ソフト面の開発を進めている。

(大総務9-4 学校法人順天堂と東急不動産株式会社が包括連携協定を締結)

- (6) 日本ゴールボール協会及び日本ボッチャ協会：2018（平成30）年1月26日付でパラスポーツ（障がい者スポーツ）競技である「ゴールボール」及び「ボッチャ」の強化・普及活動を通し、指導者としての資質を養う学生教育を行うと共に、相互に人的・技術的協力を行うことを目的として連携協力協定を締結した。両協会との協定締結により、本学はこれら競技の競技会・体験会・体験授業等への学生派遣、日本代表選手・強化指定選手の強化指導、特別支援学校等で活用される競技指導書の作成等の取り組みにおいて、両協会とのより一層の連携を図る。

(大ス9-3 日本ゴールボール協会と順天堂大学との連携協力に関する協定書)

(大ス9-4 日本ボッチャ協会と順天堂大学との連携協力に関する協定書)

- 4) 2014(平成26)年6月23日、一般財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会と、連携協定を締結しており、大会に向け様々な取り組みを進めている。具体的な事例として、公開講座、事前キャンプの受け入れを想定した大学施設の開放、オリンピック・パラリンピックに関わる体験会やスポーツ教室の実施等がある。オリンピック選手への育成・強化、監督・コーチ及びサポートスタッフの輩出、キャンプ地誘致活動への協力・支援などの検討を行っている。

(大社連9-2 社会連携推進委員会資料 平成29年度事業報告)

- 5) 2017（平成29）年9月にスポーツ健康科学部は、スポーツ庁が公募した「大学横断的かつ競技横断的統括組織（日本版NCAA）創設事業」に応募し、スポーツを通じて大学の振興や活性化を行っている8大学の1つに選定された。同事業に規定される先進的モデル事業では、「パラスポーツを通じた地域貢献、地域活性化」として、2018（平成30）年1月に一般社団法人日本ゴールボール協会及び一般社団法人日本ボッチャ協会とそれぞれ連携協力協定を締結し、両協会と連携して、体験会・体験授業等への学生派遣、日本代表選手・強化指定選手の強化指導等を実施した。先進的モデル事業の検証効果として、地元の印西市の小学校2校と中学校1校に対し、学生主導によるパラスポーツ体験会を実施した。実施後、パラスポーツ団体や学外の識者から助言を得るために、体験会実施の評価に関する事業推進研究会を2回実施した。なお、本体験会が好評で、多くの近隣の市町村から体験会実施の依頼を受けており、今後もパラリンピックを中心としたスポーツ振興の中核としての役割を果たして行く予定である。また、パラスポーツ指導書出版に向けた資料作成とパラスポーツ用品開発のための準備を進め、将来的には収益事業として確立させ、大学スポーツの更なる活性化に向けた資源とする予定である。

(大ス9-5 大学横断的かつ競技横断的統括組織（日本版NCAA）創設事業（大学スポーツ振興の推進）成果報告書（最終報告書）)

- 6) 奨学目的の寄付を有効に活用した寄付講座及び共同研究の基盤となる共同研究講座を設置

## 第9章 社会連携・社会貢献

して、教育研究の豊富化や活性化を図り、人材を養成するとともに共同研究講座の開設を推進し、産学連携の強化を図り、研究成果の社会実装化を目指す。2017(平成 29)年度には、20 の寄付講座と 8 の共同研究講座が設置されている。

(大総務 3-2 平成 29 年度 事業報告書 「10. 寄付講座」・「11. 共同研究講座」)

- 7) 臨床研究については、臨床研究・治験センターを中心に臨床研究に係る教育を行うとともに、研究支援を行っている。教育面では、平成 24 年度文部科学省がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン事業・次世代先導的がん研究者養成コースを通じて医師・コメディカル・がん研究者に対する疫学研究の基礎、臨床研究の倫理面での配慮に関する教育を行っている(同事業は補助終了後も大学院のコースワークや授業科目として継続中)。また、臨床研究に携わる研究者、研究支援者を対象とした生物統計教育、臨床試験デザイン、モニタリング等に関する研究教育セミナーを定期的に企画開催し、臨床研究人材の育成、能力向上に努めている。2018 年(平成 30 年)2 月 24 日には、「平成 29 年度 第 1 回臨床研究講習会(倫理委員会認定講習会)」を開催し、全プログラム終了後に行われる認定試験に合格した者には、病院倫理委員会の申請資格として認められる修了証を発行している。研究支援としては、多施設共同臨床研究の支援も行っている。同センターで支援している臨床研究の成果等は、学会・論文で発表されている。

(大革新 9-7 臨床研究支援センター運営委員会資料 2018 年 12 月教育・研修室)

(大革新 9-8 臨床研究中核病院申請書類 様式 5 特定臨床研究に関する研修の実績)

### 《他学との連携について》

- 1) 他の大学及び高等学校との間においても、次のとおり連携協定を締結し、それぞれの協定に基づき、教育・研究等の推進に取り組んでいる。

- (1) 早稲田大学：医学と建築学の融合を図り、次世代環境医療、エコキャンパス・ホスピタル及び病院建築に関する研究を推進するため、2009(平成 21)年 3 月に研究協力協定を締結した。共同研究は主に 4 つのテーマに沿ったワーキンググループ(高層病院の安全・避難、エコ技術、感染環境制御、環境発がん制御)を中心に共同研究を進め、本学で実施していた新病棟の建築に研究成果を活かすため同大学と本学の共同研究に清水建設技術研究所も共同研究契約を締結した。4 つのテーマのうち 3 テーマは研究成果を新病棟において実現させ終了した。現在は感染環境制御をテーマに、定例的に共同研究会を開催し共同研究を推進している。

(大再編 9-1 学校法人順天堂と学校法人早稲田大学との共同研究に関する覚書)

(大再編 9-2 次世代環境医療研究会組織図)

(大再編 9-3 2014(平成 26 年)2 月 21 日(金)東京新聞「東京消防庁新基準適用第 1 号 順天堂の新病棟で訓練」)

- (2) 学校法人女子美術大学：2015(平成 27)年 5 月 20 日付で連携・協力に関する基本協定を締結した。同校の創立者の一人で、校主であった佐藤志津は順天堂 第二代堂主佐藤尚中の実の娘であり、第三代堂主 佐藤進の妻であった。佐藤志津が亡くなった後は佐藤進が校主・校長に就任し、その後、第四代堂主 佐藤達次郎が同校の理事長、学長を務めるなど、同校とは歴史的に強い結びつきがある。芸術・癒し・デザインの分野に秀でた同校と、医療・健康・スポーツの分野に強みを持つ本学が協定を結んだことで、ヒーリングアート・癒し・スポーツメンタルなどを切り口とした様々な分野、領域での連携協力や新たな取組

## 第9章 社会連携・社会貢献

みが期待される。2018(平成30)年3月24日には、本協定に基づいて創設された「佐藤志津・小川秀興賞」の第2回授与式が挙行された。この賞は、女子美術大学卒業制作作品の中から優れた作品を表彰するもので、受賞作品はヒーリングアートとして1年間、順天堂医院B棟のエントランス及び第二教育棟に展示される。

(大総務9-5 学校法人順天堂と学校法人女子美術大学が連携・協力に関する基本協定を締結)

- (3) 星薬科大学：2015(平成27)年9月29日付で相互の教育・研究及び社会貢献活動を通して大学間交流の推進を図るため、包括的連携に関する協定を締結した。両大学の強みを活かし、教育・研究及び社会貢献活動の分野で包括的に緊密な協力関係を築き、連携を深めることにより、学生教育の質的向上、教職員の質的向上を図り、大学間の交流等を行うことで、人材の育成や教育・研究活動の充実、活力ある地域社会への貢献に寄与していく。2017(平成29)年は、協定に基づき本学教員が星薬科大学の客員研究員として委嘱され、順天堂医院では、同大学薬学部学生の実習施設として薬学部生受入を開始した。

(大総務9-6 順天堂大学と星薬科大学が学術交流に関する包括的連携協力の基本協定を締結)

- (4) 電気通信大学・星薬科大学：2016(平成28年)12月1日付で、3大学の「URA」[University Research Administrator]人材の交流を契機とした、学術連携交流に関する3大学連携協定を締結した。各大学の異なるブランド領域(順天堂大学における医学、電気通信大学における工学、星薬科大学における薬学)を、URA人材を活用して異分野連携を促進するための組織的連携関係を構築する。2017(平成29)年は、協定に基づき異分野連携の共同研究の開始とともに、2017(平成29)年12月11日に順天堂大学・電気通信大学第一回医工連携研究シンポジウムを開催した。

(大総務9-7 国立大学法人電気通信大学と順天堂大学との学術連携交流協定書)

(大総務9-8 電気通信大学・順天堂大学・星薬科大学による学術連携交流協定締結)

- (5) 立命館大学：2015(平成27)年10月6日付で、研究・教育内容の充実と学術・文化の発展及び科学技術の高度化を図ることを目的とした学術交流に関する包括協定を締結した。両大学は現在、文部科学省と科学技術振興機構が推進する「革新的イノベーション創出プログラム」(Center of Innovation=COI)において、「スポーツ・健康」と「セルフケア・医療」の融合による健康維持・増進を図り全ての人々をアクティブな状態へ誘導する「アクティブ・フォー・オール」の実現を目指した研究を共同で進めている。今回の協定締結により、両大学の保有する教育・研究資源の更なる有効活用を図ることで、我が国の健康・幸福寿命の伸延を目指した取り組みを加速させていく。

(大総務9-9 順天堂大学と立命館大学が学術交流協定を締結)

- (6) カザン連邦大学・理化学研究所：2015(平成27)年10月7日付で、医科学研究及び先進医療の分野における協力覚書を締結した。この協力覚書の締結により、参加3機関の有する研究開発力、人材、臨床サンプル・情報などのリソースを活かした連携・協力を推進し、予防医療、先進医療の分野における新たな価値創造、イノベーション創出が期待される。日露両国のみならず、開発した新技術や知見を広く国際社会で実用化し、地球規模の課題解決を目指す。

(大総務9-10 理化学研究所およびカザン連邦大学と協力覚書を締結)

## 第9章 社会連携・社会貢献

(7) 岡山大学：2015(平成 27)年 12 月 10 日付で、包括的連携・協力協定を締結した。大学としての設置形態は異なるものの、両大学がそれぞれの強みや利点を活かして連携協力し、高いレベルの教育・研究・医療を通じて更なる人材育成と国内外での社会貢献を進めていく。当面は、研究及び産学官連携の推進及び発展に関することを主なテーマとし、相互の大学の研究体制や研究活動等について情報交換等を行い、具体的な内容を検討していく。2017(平成 29)年は、RA 協議会や URA 共創プラットフォームにて URA 間で研究支援活動等について情報交換を行った。

(大総務 9-11 順天堂大学と岡山大学が連携・協力に関する包括的協定を締結)

(8) 明治大学：2015(平成 27)年 12 月 18 日付で、教育・研究活動の交流と連携の推進を目的とした大学間交流に関する包括協定を締結した。本学と明治大学は、2002 年 7 月から首都大学院コンソーシアムでの単位互換協定や教員の連携による共同研究などの取組みを行っている。本協定の締結により、これらの連携をさらに推進・発展させ、教職員及び学生の交流や施設の相互利用などを通じて両大学の教育研究力のさらなる向上をはかるとともに、医学部を有する本学と法・理工・農学部を有する明治大学が互いの特長を活かして社会に貢献していくことを目指す。図書館の相互利用や明治大学公開講座「江戸・明治期の医学・医療の歴史」への講師派遣を行っている。

(大総務 9-12 順天堂大学と明治大学が包括協定を締結)

(9) 東京藝術大学：2016(平成 28)年 3 月 23 日付で、教育研究・人材交流・社会貢献・国際交流等の一層の充実と質の向上を図り、学術研究の発展と有為な人材の育成に寄与することを目的とした連携・協力に関する包括協定を締結した。音楽セラピー等の共同研究の推進や、解剖・病理分野と美術解剖学における連携、順天堂医院におけるホスピタルアート・ヒーリング アートの展開など、両大学の保有する世界最高水準の教育・研究資源の有効活用を図るとともに、「医学・医療と芸術の融合」による相乗効果を最大化することで、医学・芸術両分野の更なる発展を目指している。2017(平成 29)年 8 月 6 日には、イベント「Summer Arts Japan 2017(協力：(公財)東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会)」の第二部では、スポーツ、芸術、科学の融合をテーマに、東京藝術大学と本学のコラボレーションにより、音楽とトップアスリート共演が実現した。本学のバドミントン部から 3 名が出演した。

(大総務 9-13 順天堂大学と東京藝術大学が連携・協力協定を締結)

(大総務 9-14 Summer Arts Japan 2017 ～ 順天堂大学 × 東京藝術大学 ～)

(10) 大妻女子大学：2016(平成 28)年 7 月 7 日付で、相互の教育・研究活動の交流と連携・協力の推進を通して、わが国の教育・研究の一層の発展に資することを目的として連携協定を締結した。

(11) 和洋女子大学：2016(平成 28)年 11 月 30 日付で、相互の教育・研究活動の交流と連携・協力の推進を通して、わが国の教育・研究の一層の発展に資することを目的として連携協定を締結した。

(12) 大学院の連携について本学大学院医学研究科は、従来より、複数の大学院と両大学院間の交流と協力を推進し教育研究の充実を図るため、大学院学生が相互に必要な研究指導を受けることを目的とした特別研究学生交流協定を締結している。2015(平成 27)年 11 月 11 日に東京大学、2016(平成 28)年 3 月 25 日に横浜市立大学大学院医学研究科と、それぞれ



## 第9章 社会連携・社会貢献

特別研究学生交流協定を締結した。

- (13) 高大連携については、2015(平成 27)年 3 月に昭和第一高等学校と、同年 8 月に神田女学園高等学校と、それぞれ教育提携協定を締結した。また、2017(平成 29 年)5 月に学校法人聖啓学園と連携協力協定を締結した。相互の交流を通じ、生徒の視野を広げ学習水準を高めるとともに、教育内容等への理解を深めるなど、大学教育と高等学校との連携を図り、互いの教育の更なる活性化を目指していく。
- (大 I R 9 - 1 昭和第一高等学校との教育連携協定締結)
  - (大 I R 9 - 2 神田女学園高等学校との教育連携協定締結)
  - (大 I R 9 - 3 学校法人聖啓学園との教育連携協定締結)

### 《国際交流について》

- 1) 国際交流については、大学を挙げて積極的に推進し、2018(平成 30)年 3 月末現在の大学間における国際交流協定校は、23 カ国/地域・57 校となっている。講座・研究室を通じて、海外研修が可能な海外交流校は 15 カ国/地域・48 校である。
- (大国交 9 - 3 大学協力協定締結状況)
  - (大国交 9 - 4 海外臨床実習\_講座・研究室で紹介可能な施設一覧(H30. 1. 11 現在))
- 2) 学外組織の JICA や日本皮膚科学会等の支援を得て、タイ国・皮膚病学ディプロマコース派遣事業を Institute of Dermatology (IOD) (タイ・バンコク)において 1976(昭和 51)年から開催している。現在 11 ヶ月のコースで運営され、これまで約 1,000 名の修了者・専門医を輩出している。
- 3) 海外の大学等との連携活動実績は、次のとおりである。
- (1) 北京大学—順天堂大学国際学術シンポジウムを、国際交流協定に基づいて実施している。両大学から精鋭の研究者が国際的にトップレベルの学術的交流を果たし、両大学での共同研究を更に進展させるため、2010(平成 22)年、2011(平成 23)年及び 2016(平成 28)年に順天堂大学で、2012(平成 24)年及び 2015(平成 27)年に北京大学でシンポジウムを開催している。次回は 2018(平成 30)年に北京大学での開催を予定している。
  - (大国交 9 - 5 5<sup>th</sup> International Academic Joint Symposium, 2016  
Juntendo University-Peking University)
  - (2) 東京医科歯科大学との共同プログラムとして、両校の留学生の日本文化交流や日本語教育について 2013(平成 25)年から相互に協力体制を整備し実施している。
  - (大国交 9 - 6 東京医科歯科大学 順天堂大学 お正月の会 案内)
  - (3) 中国・北京大学医学部長一行、ルクセンブルク・保健大臣一行、台湾・国立台湾大学医学部長一行、韓国・仁済大学医学部長一行や中国・教育部副大臣一行等の来訪・表敬訪問が 2017(平成 29)年度で 24 件あった。
  - (大国交 9 - 7 平成 29 年度 表敬訪問・行事一覧)
  - (4) 東京オンコロジーコンソーシアム(TOC)並びに MD アンダーソンがんセンターとの姉妹協定締結を記念し、2017(平成 29)年 7 月 29 日に国際シンポジウムを順天堂大学にて開催した。
  - (大国交 9 - 8 TOC・MDACC 姉妹協定締結記念シンポジウム ポスター)
- 4) 2014(平成 26)年度に、外国人学生及び短期研修者の獲得を視野に入れ、従来の英語版ホームページ(トップページ)のリニューアルを行った。順次既存の内容についてもデザインを

## 第9章 社会連携・社会貢献

含めて更新を進めたところ、本ページ公開直後より、短期研修を希望する海外の学生・医師からの本学に関する照会が数多く寄せられ、2017(平成29)年度の短期研修受入数は293名と引き続き前年度から大幅に増加した。また、参加者の出身国も広がりを見せている。今後受入数は受入講座の負担も考慮し、ある程度落ち着くものと見られるが、参加者が帰国した後の波及効果により、申請者の背景はより多様化するものと見込まれる。

(大国交9-9 外国人短期研修受入数の推移(過去5年間))

(大国交9-10 短期研修者の所属機関(国/地域)の多様化)

### 《その他の社会貢献活動について》

- 1) 本郷・お茶の水キャンパスのセンチュリータワー17階にある「日本医学教育歴史館」は、順天堂創立175周年記念事業の一環として開設され、日本の医学教育の歴史を資料等により検証できる本邦初の常設展示施設である。一般公開(火・木曜日)しており、見学者は年間約900名となっている。

(大総務9-15 施設・関連団体ホームページ 「日本医学教育歴史館」)

**点検評価項目③：社会連携・社会貢献の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。**

### 【評価の視点】

- 1：適切な根拠(資料、情報)に基づく点検・評価
- 2：点検・評価結果に基づく改善・向上

### 《社会連携・社会貢献について》

- 1) 社会連携に関する具体的な事業計画の策定及び各キャンパスにおける取り組み状況等の点検・評価等については、事業の有効性や適切性について学長を委員長とする社会連携推進委員会で審議し、検証している。具体的には、各キャンパスから、各々の地域で実施した公開講座、シンポジウム、スポーツ教室、学生のボランティア活動等についての報告及びこれらの実績を踏まえた次年度計画の説明を受け、大学全体として課題と改善策について情報共有を図った。また、2020年のオリンピック・パラリンピック競技大会に向けたイベント等に関し、マーク・ロゴ等の知的財産保護基準や「参画プログラム」についての注意事項を確認した。

(大社連9-3 社会連携推進委員会議事録(平成29年5月))

- 2) 本郷・お茶の水キャンパス(医学部)では、東京都、新潟県、千葉県、埼玉県の各地域卒学生を対象に、2017(平成29)年6月27日、11月14日、「地域卒学生」向けの説明会及び「地域卒学生」として大学を卒業した臨床研修医からの報告会を開催した。報告会を開催することで方針に沿った貢献ができているか検証している。「地域卒学生」としてのキャリアパスについての説明や情報交換を行い、将来、各地域での地域医療に貢献するための現状把握やキャリアプランについて考察するよう地域卒担当教員が地域卒学生へ指導している。

(大医9-1 平成29年度 地域卒学生ユニット説明会(平成29年6月))

(大医9-2 平成29年度 地域卒学生の卒前・卒後報告会(平成29年11月))

- 3) さくらキャンパス(スポーツ健康科学部・大学院スポーツ健康科学研究科)では、4月と10月に周辺自治体との実施事業に関するヒアリングを行っている。そのヒアリング時には、周辺自治体の各担当部署の職員も参加し、次年度事業の実施等を自治体と共に点検・評価を

## 第9章 社会連携・社会貢献

行っている。また、社会連携室分室会議において、周辺自治体の事業の取り組みに対する点検を行い、周辺自治体へ還元するような体制を取っている。

(大ス9-6 親子スポーツ教室(酒々井町・印西市) 打合せ記録(平成29年5月1日))

(大ス9-7 平成29年度 順天堂大学生涯学習公開講座(親子スポーツ教室) アンケート結果)

- 4) 浦安キャンパス(医療看護学部・大学院医療看護学研究科)では、学生ボランティアをはじめ各クラブの代表者を含めた自治会との連絡会議を定期的に行い、地域社会・国際社会への協力方針に基づき、活動状況について評価・検証を行っている。

(大医看9-1 自治会とクラブ代表学生との連絡会議議事録(平成29年6月))

- 5) 三島キャンパス(保健看護学部)では、地域の保健・医療・福祉の分野における生涯教育の一翼を担うよう、公開講座等の開催により教育研究成果を還元している。公開講座企画委員会において、公開講座参加者アンケートを分析し事業を評価している。今後は、学生・教職員のボランティア活動や教員の自治体や関連団体の講演会・研修会への派遣等を更に進めるため、社会連携室分室会議を定期開催していく。これらにより周辺自治体等との事業の取り組みに対する点検を行い、教育研究成果を周辺自治体等に還元する体制やボランティア活動を推進する体制を整備していく。

(大保看9-1 公開講座企画小委員会議事録(平成29年3月))

- 6) 本郷・お茶の水キャンパス(国際教養学部)では、地域社会への貢献のため、定期的に市民公開講座やフォーラムを開催しており、教授会において総括的な検証を行っている。

(大国教9-1 国際教養学部教授会議事録(平成29年6月))

- 7) 本郷・お茶の水キャンパス(大学院医学研究科)では、大学院医学研究科委員会において各種連携協定の締結・更新の審議を行なっている。また、学外施設学修申請に基づく学外組織との連携による研究指導についても、当該学生の研究内容や期間等を確認のうえ、可否の審議を行なっている。

(大院医9-1 大学院医学研究科委員会議事録(平成30年2月))

### 《産学官連携について》

- 1) 臨床研究・治験センターでは、企業や研究機関等との共同研究を推進するため、担当者を配置した管理を行っている。臨床研究・治験センター運営委員会において、産学官連携の成果となる知財や連携共同研究等の進捗状況が担当者から報告され、医師、生物統計家、CRC、研究事務局等多職種から構成される委員による評価が行われ、改善方策について検討している。

(大革新9-9 臨床研究・治験センター運営委員会資料2018年2月研究開発企画室)

- 2) 産学官による連携協定を締結する愛知県東郷町と東郷町施設サービス(株)とは、協定書に基づく東郷町民の健康寿命の延伸、生涯スポーツ及び地域の振興に寄与することを目的として、事業や共同研究を円滑に実施するための会議を定期的に行い、進捗状況、評価及び改善について検証している。また、検証結果に基づき事業や共同研究体制の拡充を図っている。その結果、愛知県東郷町が2017(平成29)年11月に「厚生労働省主催「第6回健康寿命をのばそう!アワード」で優良賞を受賞した。

(大ス9-8 平成30年2月 東郷健康寿命延伸協議会(第3回会議議事録))

### 《他学との連携について》

- 1) 研究成果を社会に還元する目的で締結された連携協定については、それぞれ定期的にシンポ

## 第9章 社会連携・社会貢献

ジウムや報告会等を開催することで、活動の定期的な検証を行っている。

### 《国際交流について》

- 1) 毎月開催される JIIC (Juntendo University International Center) 教育委員会において、教員及び学生の国際交流や国際共同研究・教育等具体的な業務の検証（各留学生の奨学金の受給状況、学生の生活に係る検討事項の共有、来訪団体の目的確認と適切な対応を実施しているかの検証等）を行っている。

(大國交9-11 第96回国際交流センター教育委員会議事録)

## (2) 長所・特色

### 《社会連携・社会貢献について》

- 1) 社会貢献については、本学の特性を活かし、研究成果の社会的な還元という観点から公開講座やシンポジウム・学術講演会等を数多く開催している。医学関係では最新の医療情報や技術等の提供があり、スポーツ関係では子供やスポーツに興味のある青少年等のための運動プログラム、高齢者にはロコモティブシンドローム予防のプログラムを行い、看護関係では市民参加型の体験学習等を行っている。これらは数年前より実施しているが、市民からの需要が高く、自治体等からの要望が多い。引き続き、本学の特性を活かし、公開講座・シンポジウム・学術講演会等を開催することで、教育・研究成果の社会への還元を図っていく。

(大社連9-4 社会連携推進室ホームページ)

- 2) 2020 (平成 32) 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、自治体をはじめとする関係団体等との連携を含め、健康総合大学として全学的に意欲的に取り組んでいる。オリンピックを派遣しての講演やトップアスリートによる運動教室、各地で開催されているスポーツイベント、パラスポーツ普及のための体験会への学生の参加等、オリンピック・パラリンピック競技大会が近づくにつれ、自治体及び教育機関等から協力要請が増加しており、今後、更に増加するであろう依頼にどのように対応するか検討していく必要がある。

(大社連9-4 社会連携推進室ホームページ)

- 3) 大学院医学研究科では、2017 (平成 29) 年度の博士課程入学志願者の3割以上が社会人であり、「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」採択により2013 (平成 25) 年度に設置された「次世代先導的がん研究者養成コース」は、がん治療認定医の申請資格の単位の一部として認められるなど、すでに社会の中で活躍する医師の生涯学習の機会として十分な役割を果たしている。また、連携大学院協定を締結している3研究機関より、2017 (平成 29) 年度も16名の入学者があった。毎年度、各研究機関から入学者を迎え入れており、医学教育と医学研究の連携に貢献できている。

引き続き、ホームページや募集要項、研究科説明会等において、社会人入学者の増加に向けた周知を図る。また、「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」の設置コースについては、補助終了後も大学院のコースワークや授業科目として開講している。連携大学院については、大学院生の研究指導のみならず、本学と連携機関の共同研究への発展の可能性も視野に入れ、一層の連携強化を図る。

- 4) スポーツ健康科学部・大学院スポーツ健康科学研究科では、社会連携推進室分室の設置により、周辺自治体との連携が進んでおり、市町村との公開講座・学術支援・スポーツイベント・学生ボランティア派遣等の活動が増加している。周辺自治体に共通したテーマとして「子ども

## 第9章 社会連携・社会貢献

もたちの体力向上」、「中高齢者への健康指導・体力指導（ロコモ対策）」などの要望が多く、多くの自治体が抱えている問題に対し、本学部が中心的な役割を果たしている。

今後も、社会連携協定を締結した自治体と合同で公開講座やシンポジウム・学術講演会・スポーツイベント等の行事を積極的に開催することで地域に貢献していく。更に、中高齢者への健康・運動指導やオリンピック・パラリンピック参画プログラムへも積極的に参加していきたい。

- 5) 医療看護学部・大学院医療看護学研究科では、定期的に健康増進や保健衛生に関するテーマで公開講座、オープンスクールを開催し、教育研究の成果を社会に還元している。

今後も公開講座・オープンスクールを継続して開催するとともに、支援が必要な子ども・高齢者・在宅患者・被災地等への学生ボランティア活動、自治体との連携協力による講演会・防犯活動・調査研究活動等を通じて、地域住民の健康増進、保健衛生に貢献していく。

- 6) 保健看護学部では、2014(平成26)年1月、本学部と三島市との間で、文化・医療・教育・学術など様々な面で相互に協力し、地域の活性化、産業の発展を目的として連携協働協定を締結して以来、学生も、積極的に地域に関わろうという意識をもってボランティア活動に参加している。同学部では、三島市教養セミナーを毎年開催する等、定期的に健康増進等に関する公開講座を開催し、教育研究の成果を社会に還元している。

今後も、三島市及び周辺自治体の協力の下、教育に地域住民の参加（教育ボランティア・模擬患者）を得られる仕組みづくりを進め、教育効果を高めるとともに地域住民の健康増進に貢献していく。

（大保看9-2 三島市との協定書）

- 7) 国際教養学部では、定期的に市民公開講座やフォーラムを開催し、教育研究の成果を社会に還元している。

今後、実施内容や開催頻度を検討の上、更なる充実を図る。

（大国教9-2 市民公開講座チラシ）

（大国教9-3 持続可能な高齢社会フォーラムチラシ）

### 《産学官連携について》

- 1) 文部科学省「研究成果展開事業センター・オブ・イノベーション(COI)プログラム」において、2015(平成27)年度から立命館大学と連携し、空間価値を変える新しいスポーツ健康技術(スマートウェア技術、空間シェアリング技術、運動誘導/継続技術)と、寝たきりゼロを目指す「ロコモの見える化と予防法の開発」行っている。

本学は、2021(平成33)年度まで(株)ニッピ、(株)日立製作所、東急不動産(株)、花王(株)、東郷町施設サービス(株)と協働し「運動」を媒介に「スポーツ・運動」と「医療」の両側面から健康を維持・増進し、全ての人々をアクティブな状態へ誘導し、時間と空間を共有することで、「日本の誇るべき絆社会」の実現を目指している。これら実装の場として、本学と連携協定を締結している千葉県内の自治体(白井市・成田市)に加え、愛知県東郷町でフィールド研究を行い、製品化、システム化など具体的な社会実装へ向かう取り組みを実施し、革新的なイノベーションを産学官連携で実現したい。

- 2) 独立行政法人理化学研究所との基本協定に基づき実施しているがんバイオマーカー共同研究の成果として、呼吸器外科と産婦人科のがんバイオマーカー研究が、それぞれ PLoS ONE0175622 (2017年4月19日) と SCIENTIFIC REPORTS 7:14160 (2017年10月26日) に掲

## 第9章 社会連携・社会貢献

載された。また、2017年12月27日に第5回理研・順天堂共同研究発表会を開催し、共同研究と連携活動の発表と共同研究者間の情報共有を行った（於順天堂大学センチュリータワー南19階会議室）。共同研究発表会にて独立行政法人理化学研究所より発表された新技術に基づく共同研究を検討している。

独立行政法人理化学研究所との連携共同研究において出願した特許については、特許7件のうち4件は審査請求せず見なし取り下げとした。産婦人科の特許2件のうち、先行特許は審査請求し（平成30年1月9日）、欧州移行、別出願特許は、日本と欧州に移行した。呼吸器外科の特許は審査請求し（平成30年1月11日）、欧州に移行した。更なる共同研究発の特許出願を目指す。共同研究発表会については、研究と連携活動の進捗を踏まえ、より効果的な形式のもとで開催する。

（大革新9-10 PLoS\_ONE0175622）

（大革新9-11 SCIENTIFIC\_REPORTS\_7:14160）

（大革新9-12 第5回理研・順天堂共同研究発表会ポスター）

（大革新9-13 理研CAGE関連特許状況）

- 3) 株式会社日立製作所との連携基本協定に基づき実施している共同研究では、2017(平成29)年3月30日に開催されたステアリング会議にて、共同研究は、2016(平成28)年度に得られた成果を持って終了することとなった。2017(平成29)年度になってから、消化器内科より胃拡大内視鏡診断支援システムの提案を行い、日立超LSIシステムズと共同研究の可否を検討している状況である。

日立より提案された東大COIとの連携テーマ「筋肉内脂肪測定器の研究」は、JSTの採否待ちで、採否結果が判明したら、整形外科等との連携を検討予定である。

（大革新9-14 順天堂・日立包括連携ステコミ議事録2017年3月）

- 4) 花王株式会社との研究包括契約に基づく取り組みとして、7件の共同研究契約と1件の研究指導契約に基づき、研究が進捗している。また、3件の技術説明会が開催され、連携推進体制の強化も進んでいる。

同社とは、共同研究を進捗させるとともに、更に技術説明会、共同研究発表会を通じて、新たな共同研究テーマを選定すると共に、研究成果の共有を図り、取り組みを進めていく。

（大革新9-15 花王株式会社との研究包括契約に基づく取り組み）

### 《他学との連携について》

- 1) 東京藝術大学とは、連携協定に基づき、「Summer Arts Japan 2017」、コンサート・シンポジウム「それぞれの美 Sports Arts Science」を開催しており、目的に則した連携・協力が実現できている。

同大学とは、連携協定に基づき、引き続き、イベント「Summer Arts Japan」等を共催し、連携・協力を進める。

### 《国際交流について》

- 1) 国際交流センター長を中心として、その下で本学の国際交流に関する運営母体のJUIC教育委員会が毎月開催されている。委員会では、審議事項のほかに、定型的な報告事項として、国際交流協定校情報、来訪団体、海外からの医学部短期研修、留学生状況、奨学金、英語版HP、文化教育活動、病院診療支援状況等の報告等を行っている。本学の国際交流に関する運営母体として有効に機能している。

## 第9章 社会連携・社会貢献

英語版 HP の更新作業を進めたことから、海外からの照会数が増加し、その結果として短期研修受入数は300名に迫るまでになった。こうした外部からの関心の高まりを受け、JUIC 教育委員会においても、今後、教職員や学生の国際交流に関する事項について、教育の質と受入学生の質を維持するため、各受入講座における受入条件について考慮していく。また、国際レベルでの科学研究や共同研究に関する事項について、国際交流の観点から積極的に関与していくことを目指す。

### (3) 問題点

#### 《社会連携・社会貢献について》

- 1) 多くの自治体に共通した課題として、子どもや高齢者の健康・体力指導に関するものがあるが、周辺自治体の連携や自治体内の部署連携が不足している。

自治体との連絡協議会等を通し、自治体内での部署連携が進み、円滑な事業展開が可能になった部分もあるが、キャンパス周辺に連携自治体が複数あるスポーツ健康科学部では、これらの自治体に共通した課題を共有し、効率的に事業の展開が図れるよう調整していく。

- 2) 大学院医学研究科における連携大学院（国立がん研究センター等）については、毎年一定数の入学者が確保できており、運営状況は順調と言える。

今後は、社会人学生の受入に留まらず、共同研究の実施、合同シンポジウムの開催等、事業内容の更なる拡充・発展に向けた検討を行なう必要がある。

（大院医 9-1 大学院医学研究科委員会議事録（平成 30 年 2 月））

（大院医 9-2 大学院医学研究科委員会議事録（平成 29 年 10 月））

- 3) 保健看護学部では、周辺自治体との公開講座及び学生教員によるボランティア活動等は実施されているが、今後は共同研究の実施など連携を推進していきたい。

教員による自治体・関係団体の研修会講師派遣等から共同研究のテーマなど検討するよう教員への周知を図り、実施のための仕組みづくりを進める。

- 4) 保健看護学部では、国際化対応のための情報発信が不十分である。法人広報委員会と連携して英語版ホームページを作成していく必要がある。

フィンランド、ユヴァスキュラ応用科学大学との共同研究が現実のものとなっていることから、教員スタッフの経歴や研究テーマについて、英語版ホームページを通じて発信していく。

#### 《産学官連携について》

- 1) 独立行政法人理化学研究所との連携共同研究の進捗・研究成果として出願した特許については、実用化には至っていない。2 共同研究から論文 2 報が発表されたが、他の共同研究から論文発表を通じての社会への研究成果情報の提供は、まだなされていない。

今後は、より実用化の可能性の高いがんバイオマーカー特許に絞って登録を目指すとともに、特許登録を持って診断薬メーカーに提示し診断薬の開発を目指す。論文発表については、引き続き共同研究発表会を開催し、共同研究者間の情報共有と研究促進を図るとともに、研究者との研究相談等を通じて、論文発表を促していく。

- 2) 花王株式会社との研究包括協定に基づく共同研究については、特許 1 件が出願され、花王とともに実用化を目指す。他の研究では、未だ実用化に至る成果が得られていない。論文を通じて社会への研究成果情報の提供もなされていない。

今後は、研究テーマを整理するとともに技術説明会、共同研究成果発表会を企画し、新たな

## 第9章 社会連携・社会貢献

共同研究テーマの立ち上げ、特許出願、論文発表につなげて行く。

### 《国際交流について》

- 1) 昨年度に引き続き、英語版 HP の拡充に加え、協定校との共同プログラム実施によって、多くの短期留学生・外国人研究者が本学に来訪している。宿舍の確保が困難な状況は 2017(平成 29)年度も慢性的に生じている。  
新たな宿舍が確保されたものの、実質的な運用・効率的な案内方法の構築、日常生活のサポートといった、受け入れ環境の一層の改善が求められており、関係各所と調整していく。
- 2) 施設見学者の増加に伴い、病院を出入りする際のセキュリティー要件（体調管理・院内での注意事項等）を、留学生と同様に整備していく必要がある。  
病院来訪者については、見学施設や引率者の有無によっても求められる要件が微妙に異なることが想定されるが、国際基準の医療の質と患者の安全を担保するためにも、一般的な要件を設定・来訪照会の時点並びに当日の見学開始前に示すような機会を設けるようにする。また、講座単位といった大学法人への公式来訪ではないケースについて、指導が甘くなりがちなことから、病院の担当部門である病院機能管理室への案内を徹底する。
- 3) 離籍後の連絡先確認について、直接今後の進路を聞き取る機会を設け、把握に努めている。  
今後は、現在試験的に行っている当センターからの連絡（近況報告等）内容を拡充し、更なる関係性の構築を進める必要がある。

### (4) 全体まとめ

地域社会との連携は「社会連携推進室」、研究機関との連携は「研究戦略推進センター」及び「臨床研究・治験センター」、国際交流・国際化は「国際交流センター」がそれぞれ中心的な役割を果たし、全学を挙げて推進している。自治体との連携協定締結も進み、教育研究成果を社会に還元する各種取り組みが行われている。公開講座・シンポジウム開催や講師派遣も積極的に行われている。他学、学外研究機関、企業等との連携も進み、特許出願等の成果が出ている。また、医学部附属病院を通じた地域への貢献も果たしている。以上のことから、同基準を満たしている。



## 第9章 社会連携・社会貢献

## (5) 根拠資料

資料 No.	各部署の 資料整理No.	資料名称
1	大総務2-1	法人ホームページ 「各種方針」 <a href="https://www.juntendo.ac.jp/corp/about/policy.html">https://www.juntendo.ac.jp/corp/about/policy.html</a>
2	大社連9-1	学校法人順天堂社会連携推進室運営規程
3	大総務9-1	各学部・研究科の社会連携・社会貢献に関する方針
4	大研戦9-1	順天堂大学産学官連携ポリシー
5	大研戦9-2	順天堂大学研究戦略推進センター管理運営内規
6	大革新9-1	順天堂大学医学部附属順天堂医院臨床研究・治験センター管理運営規程
7	大革新9-2	順天堂大学革新的医療技術開発研究センター管理運営規程
8	大総務9-2	連携協定締結先一覧
9	大外交9-1	順天堂大学国際交流センター運営規程
10	大外交9-2	順天堂大学 国際化ビジョン
11	大総務9-3	各学部・研究科・附属病院における社会連携・社会貢献の取組み
12	大研戦9-3	大学・大学院ホームページ 本学について 教育改革の取組みなど センター・オブ・イノベーション (COI) <a href="https://www.juntendo.ac.jp/university/about/education/">https://www.juntendo.ac.jp/university/about/education/</a>
13	大ス9-1	学校法人順天堂と国立大学法人鹿屋体育大学連携協定書
14	大ス9-2	順天堂大学と国立研究開発法人医療基盤・健康・栄養研究所連携協定書
15	大革新9-3	順天堂大学と理化学研究所が包括的基本協定
16	大革新9-4	順天堂大学と日立が包括的な産学連携の協定を締結
17	大革新9-5	順天堂大学と花王が産学連携の研究包括契約を締結
18	大革新9-6	首都圏 AR コンソーシアムに関する基本協定書
19	大総務9-4	学校法人順天堂と東急不動産株式会社が包括連携協定を締結
20	大ス9-3	日本ゴールボール協会と順天堂大学との連携協力に関する協定書
21	大ス9-4	日本ボッチャ協会と順天堂大学との連携協力に関する協定書
22	大社連9-2	社会連携推進委員会資料 平成29年度事業報告
23	大ス9-5	大学横断的かつ競技横断的統括組織（日本版NCAA）創設事業（大学スポーツ振興の推進）成果報告書（最終報告書）
24	大総務3-2	平成29年度 事業報告書
25	大革新9-7	臨床研究支援センター運営委員会資料2018年12月教育・研修室
26	大革新9-8	臨床研究中核病院申請書類 様式5 特定臨床研究に関する研修の実績
27	大再編9-1	学校法人順天堂と学校法人早稲田大学との共同研究に関する覚書
28	大再編9-2	次世代環境医療研究会組織図
29	大再編9-3	2014（平成26年）2月21日（金）東京新聞「東京消防庁新基準適用第1号 順天堂の新病棟で訓練」
30	大総務9-5	学校法人順天堂と学校法人女子美術大学が連携・協力に関する基本協定を締結
31	大総務9-6	順天堂大学と星薬科大学が学術交流に関する包括的連携協力の基本協定を締結

## 第9章 社会連携・社会貢献

資料 No.	各部署の 資料整理No.	資料名称
32	大総務9-7	国立大学法人電気通信大学と順天堂大学との学術連携交流協定書
33	大総務9-8	電気通信大学・順天堂大学・星薬科大学による学術連携交流協定締結
34	大総務9-9	順天堂大学と立命館大学が学術交流協定を締結
35	大総務9-10	理化学研究所およびカザン連邦大学と協力覚書を締結
36	大総務9-11	順天堂大学と岡山大学が連携・協力に関する包括的協定を締結
37	大総務9-12	順天堂大学と明治大学が包括協定を締結
38	大総務9-13	順天堂大学と東京藝術大学が連携・協力協定を締結
39	大総務9-14	Summer Arts Japan2017 ～ 順天堂大学 × 東京藝術大学 ～
40	大IR9-1	昭和第一高等学校との教育連携協定締結
41	大IR9-2	神田女学園高等学校との教育連携協定締結
42	大IR9-3	学校法人聖啓学園との教育連携協定締結
43	大外交9-3	大学協力協定締結状況
44	大外交9-4	海外臨床実習_講座・研究室で紹介可能な施設一覧(H30.1.11現在)
45	大外交9-5	5 <sup>th</sup> International Academic Joint Symposium, 2016 Juntendo University-Peking University
46	大外交9-6	東京医科歯科大学 順天堂大学 お正月の会 案内
47	大外交9-7	平成29年度 表敬訪問・行事一覧
48	大外交9-8	TOC・MDACC 姉妹協定締結記念シンポジウム ポスター
49	大外交9-9	外国人短期研修受入数の推移(過去5年間)
50	大外交9-10	短期研修者の所属機関(国/地域)の多様化
51	大総務9-15	施設・関連団体ホームページ 「日本医学教育歴史館」 <a href="http://www.juntendo.ac.jp/jmehm/">http://www.juntendo.ac.jp/jmehm/</a>
52	大社連9-3	社会連携推進委員会議事録(平成29年5月)
53	大医9-1	平成29年度 地域卒学生ユニット説明会(平成29年6月)
54	大医9-2	平成29年度 地域卒学生の卒前・卒後報告会(平成29年11月)
55	大ス9-6	親子スポーツ教室(酒々井町・印西市) 打合せ記録(平成29年5月1日)
56	大ス9-7	平成29年度 順天堂大学生涯学習公開講座(親子スポーツ教室) アンケート結果
57	大医看9-1	自治会とクラブ代表学生との連絡会議議事録(平成29年6月)
58	大保看9-1	公開講座企画小委員会議事録(平成29年3月)
59	大国教9-1	国際教養学部教授会議事録(平成29年6月)
60	大院医9-1	大学院医学研究科委員会議事録(平成30年2月)
61	大革新9-9	臨床研究・治験センター運営委員会資料2018年2月研究開発企画室
62	大ス9-8	平成30年2月 東郷健康寿命延伸協議会(第3回会議議事録)
63	大外交9-11	第96回国際交流センター教育委員会議事録
64	大社連9-4	社会連携推進室ホームページ <a href="https://www.juntendo.ac.jp/cooperation/">https://www.juntendo.ac.jp/cooperation/</a>

## 第9章 社会連携・社会貢献

資料 No.	各部署の 資料整理No.	資料名称
65	大保看9-2	三島市との協定書
66	大國教9-2	市民公開講座チラシ
67	大國教9-3	持続可能な高齢社会フォーラムチラシ
68	大革新9-10	PLoS_ONE0175622
69	大革新9-11	SCIENTIFIC_REPORTS_7:14160
70	大革新9-12	第5回理研・順天堂共同研究発表会ポスター
71	大革新9-13	理研 CAGE 関連特許状況
72	大革新9-14	順天堂・日立包括連携ステコミ議事録 2017年3月
73	大革新9-15	花王株式会社との研究包括契約に基づく取り組み
74	大院医9-2	大学院医学研究科委員会議事録（平成29年10月）